令和６年度第６回御船町議会定例会（３月会議）一般質問

質問順番	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
1	福本　悟	子育て支援と移住・定住の促進について	出生数が減少するなか、少子化や人口減少は喫緊の課題である。子ども・子育てについては、町の第６期総合計画に「子育てしやすい環境づくりの推進」や、第２期子ども・子育て支援事業計画には「教育・保育の充実、多様な子育て支援サービス」の各施策を掲げ支援が図られている。町独自の支援として、小学生以上の子ども医療費助成、アニバーサリーチケット交付、新中学１年生に制服を支給する新生活スタート応援事業等があるが、切れ目ない子育て支援として支援移住・定住促進の観点からも、育児・経済的な負担軽減など充実する必要があると考える。町長は、子育て支援の充実をどう考えているのか。	町長 教育長
2	中城　峯雄	⑴御船町内の治水対策について	矢形川の治水対策と町内の内水問題をどのように考え、どのような対策を実施してきたのか。また、今後の対策についての検討状況を確認する。	町長
		⑵今城集落一帯の農地活用について	今城集落一帯の農地活用の検討状況と将来の土地利用構想等の考えについて問う。	町長
3	田上　忍	⑴防災士の活用について	防災士を育成して今年で３年目となる。今まで約100 人の防災士が誕生した。しかし、その防災士の活用や訓練等も行われていない。今後、防災士の活用をどう考えているのか問う。	町長
		⑵町指定の避難所の整備について	異常気象が当たり前のような気象になっているのがここ数年の現状である。今後も夏場はエアコン無しでは過ごすことは難しい現状がある。また、ネット社会が普及した現在ではWi-Fi 環境は必要な設備だと考える。そこで御船町の指定避難所の設備の整備状況を問う。	町長

質問順番	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
4	藤川　博和	10の重要政策について	10 の重要政策を実現するためには 33 の事業達成が必要であり、事業の進捗状況の管理が必要である。今事業が遅れなく達成できるよう「５　教育の充実」について「６　子育て健康福祉」について「７　歴史文化芸術の研究と継承」について現在の進捗状況を確認する。	町長 教育長
5	岩永　宏介	食料安全保障について	御船町のＧＤＰに占める第１次産業の割合と全就業者に対する農業就業人口の割合、カロリーベースでの食料自給率について確認する。 また、御船町における農業予算の推移や耕作放棄地への対策や新規の就業農業就業者を増やすための取り組みについて問う。	町長
6	増田　安至	⑴御船町のＤＸ進捗度を確認する	役場全体の窓口業務は国のＤＸ化に向けた取り組みにより変化したと思うが、町の業務でどの程度改善し効果がみられたのか。今後、ＡＩ導入の検討も必要と思われるが検討されているか。	町長
		⑵自治体経験者の利活用について	国は、地方創生への取組の一環として、人口 10 万人以下の地方自治体へ若手官僚派遣を 2025 年度から開始する。公表されている支援の仕組みはどうか。また、地方自治体への派遣は必要か。	町長
		⑶令和６年度一般質問の確認と追跡	令和６年度６月会議・９月会議・１２月会議において一般質問した内容のその後の対応や事業の実績や効果について問う。	町長

質問順番	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
7	作田　豊明	⑴中山間地域活性化について ⑵台湾清水区との連携協定について	６月議会で質問した、１０の重要政策実現の向けた１８のプロジェクト３３の事業の２中山間地域活性化について問う。 昨年末に台湾の清水区との連携協定における、今後の相互の発展に向けて、「教育・スポーツ、防災、観光産業、など」幅広い分野での交流を進める計画等について問う。	町長 教育長 町長 教育長
8	福永　啓	御船町の財政状況について問う	御船町の財政状況だが、震災以前の中期見通しでは、数年後に経常赤字に陥る可能性が指摘されていたが、震災を経てさらに悪化。しかし、その後改善がみられ、今は税収も基金も過去最高となっている。一方で、財政に関する数値を見ると改善がみられるものもあるが、同規模自治体等と比較すれば、決して良いとはいえない部分も多々ある。町民の方々がのぞむ事業についても、財政上の課題から対応できない部分があることも否めなく、わかりにくい町財政について、町民一般にも出来る限りわかりやすく説明する必要があると考える。	町長
9	ジェリフ　はづき	吉無田高原「緑の村」の運営について	産業厚生常任委員会においてこれまで、吉無田高原「緑の村」の運営について町観光協会や町担当課のヒヤリング等を行いながら協議を進めているところであるが、「緑の村」の将来的方向性が不確定なことに加え、利用料金が季節や休日等にかかわらず均一料金であること、キャンセル料の設定がないことなどについての町執行部の認識を確認する必要があるため、委員会を代表して質問する。	町長

質問順番	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
10	田上　英司	⑴産廃処理施設建設への疑問について	プラスチック資源循環促進法に対する町の認識と本来ごみ処理事業の主体はどこなのか、産廃問題における民主主義をどのように考えているのか、市民グループが国や県意見書等を 2024 年に提出していることを承知しているか、県内でも問題となっている有機フッ素化合物ＰＦＡＳについて町はどのような認識を持っているのか確認する。	町長
		⑵児童・生徒の安全確保について	令和６年３月会議において、清水議員が令和５年中に発生したわいせつ・声かけ事案について質問されているが、令和６年の状況と今後の対策等についての考えを確認する。	町長 教育長
		⑶御船中学校制服支給の業者選定への疑問と今後の対応について	令和７年度新中学１年生への制服支給事業が令和６年度予算で実施されているが、業者選定方法、契約方法、契約内容、事業の財源、今後の事業予定について確認する。また、令和６年６月２０日に締結した包括連携協定の内容を確認する。	町長
11	宮川　一幸	⑴町税の徴収対策について	町の主たる自主財源である町税は、近年、個人所得の増加や、町内への企業進出に伴い、町民税、法人税及び固定資産税の調定額は、増加傾向にある。しかし、国民健康保険税については、被保険者数の減少や被保険者の高齢化に伴い、調定額が年々減少している。そのような中、現在までの町税の収納状況やこれまでの推移について、また、すべての納税者に対する公平性の観点から、滞納者に対する現在の徴収対策等について問う。	町長
		⑵マイナンバーカードの取得状況について	現在、マイナンバーカードを保険証の代わりとして利用しているが、今後は、免許証の代わりとしても利用できるようになり、マイナンバーカード取得が必要不可欠な状況となる。そのため、現在のマイナンバーカード取得状況やカード発行に係る職員体制について、更には全町民が取得できるようにするための政策について問う。	町長